

# キラリ! 地域おこし協力隊

遠野に移り住み活動する「地域おこし協力隊」の活動の様子や関連イベント情報などをお伝えします。



1\_3月に生まれた息子との生活がスタート。名前は「菊乃介」です。2\_昨年度から行っているポッドキャスト「GOOD NEIGHBOR GOOD CULTURE」の収録の様子。番組はSpotifyなどで聴くことができます。3\_遠野に住み始めてから始めたことはたくさんありますが、キャンプもそのひとつ。先輩たちと一緒に市内周辺のキャンプ場に行っています。

**Q 活動内容を教えてください**  
遠野市の事業や企業の広報PRをするためのホームページやリーフレットの制作などを行っています。これまでの活動の中で遠野市内の約20の企業・団体の制作物の企画やディレクション、編集を担当させていただきました。

さまざまなプロジェクトに関わる中でも、最近特に遠野市への移住・定住促進に向けた広報を行うことが多くなりました。人口減少や少子高齢化は、よく社会課題として取り上げられる内容ですが、移住や定住を促進するプロジェクトによって、全国の自治体同士が住民を取り合う状況が生まれるの

よりリアルな遠野の暮らしを  
多くの人に伝えていきたい

宮本 拓海 隊員 奥州市出身・27歳  
(2019年10月着任)

移住し、挑戦中!  
宮本さんのプロジェクト  
「物産・観光振興」

は良くないと思っています。そんな中でどんな企画や広報ができるのか。模索を続けながら、広い視点を持って活動できるように意識しています。

**Q 今後の目標を教えてください**

遠野の広報やプロモーションに関わる上で、観光的な情報とは違う、よりリアルな遠野の暮らしを紹介できたらと思っています。例えば私は遠野で暮らすようになって、スーパー以外に精肉店や酒屋さんで買い物をするようになったり、山が近いので登山を始めたり、もともとやっていたサッカー以外にバスケットを始めました。観光とは違う情報が、これから遠野で生活しようとする人に必要になることもあると思うので、いわゆる「田舎」や「地方」など抽象的なイメージだけでは伝わらない、解像度の高い遠野の暮らしを多くの人に伝えていきたいです。



## グッド ネイバー グッド カルチャー GOOD NEIGHBOR GOOD CULTURE

花巻市と遠野市からお送りするポッドキャスト。ふたつの土地で生まれる文化を探るため、この場所で生きる人たちに暮らし方や働き方を聞き、紹介するインターネットラジオ番組です。詳しくは、で・くらす遠野ホームページへ。

宮本さんプロデュース!  
番組はアプリなどで視聴できます

Spotify  
Apple Music  
Google podcast  
で・くらす遠野HP  
「Instagram」「Facebook」でも番組情報などを紹介しています

# 遠野の歴史文化を紹介 遠野史歴訪

あまり知られていない遠野の歴史文化をご案内。本コーナーでは、遠野の歴史文化や、遠野遺産などについて紹介します。



生命の進化と縄文時代年表を表現した「縄文のちの樹」

縄文土器や土偶が象徴する人間の生命力は、一九七〇年大阪万博のシンボル「太陽の塔」を制作した故岡本太郎氏や、その内部にあるオブジェ「生命の樹」を作った円谷プロに大きな影響を与えています。

現在、遠野まちなか・ドキ・土器館で、企画展「遠野縄文万博」人類の歩みと平和」を開催しています。縄文時代は約一万年以上にわたり戦争をした跡がなく、人々は装飾の多い土器、土偶や石器など不思議なものを色々作っていました。そこにはモノ作りへの情熱、「遊び」の精神が見て取れます。「遊び」は結果的に富が集中しすぎるのを防ぎ、祭りや芸術によって小さな社会を充実させ、平和な時代を長く維持することに繋がっていたと考えられています。

# 遊び心いっぱい! 遠野縄文万博

今回の企画展は、縄文好き市民有志と共に昭和の大阪万博をイメージした企画を考え、協力して作り上げました。遠野の縄文遺物と昭和のおもちゃや市民の手作り作品をコラボレーションした展示から、縄文と現代のつながりを感じ、平和な社会を築いた「縄文人の心」を見て、平和について考えてほしいと思います。新聞やテレビでも人気の「たそがれ土偶」にもぜひ会いに来てください。

▼会期・九月三十日(金)まで  
▲月曜休館・月曜祝日の場合は翌日休館  
▼観覧無料▼時間・十時～十六時

## カオナシ土偶の顔想像 イラストコンテスト

顔のない土偶の顔を想像して描いてみよう! 優秀作品には縄文風ペンダントをプレゼント。  
▶日時「遠野縄文万博」会期中  
▶場所 遠野まちなか・ドキ・土器館  
▶問い合わせ 市文化課 (☎62-2340)

第148回

# 遠野遺産

The Tono Heritage

遠野遺産認定第165号「複合遺産」(令和3年10月29日認定)

## 小倉稲荷神社

推薦者 附馬牛町第1区自治会

附馬牛町内で最も古く、「附馬牛」の地名発祥の地ともいわれる小倉稲荷神社。昔、境内に大きな榎の木(ケヤキ)があり、その枝は空を覆うほどで、樹の下に100頭もの牛馬を放つことができたことから「榎馬牛」といったのが「附馬牛」に転じたと伝えられています。周辺にはケヤキの木が数本残っており、伝説に思いを巡らすことができます。

「小倉の稲荷さま」と呼ばれ、田の神として信仰されているほか、毎年10月下旬の祭礼前には草刈り作業が行われるなど、地域で大切に守られています。



MEMO  
住 附馬牛町上附馬牛5地割45番地  
交 遠野ふるさと村から車で5分  
回 附馬牛地区センター(☎64-2001)